

会員拡大を図り 高年齢者の活躍の場として発展させよう

理事長 小川順嗣

小川理事長は、総会の開会にあたり、会員並びにご来賓に総会への出席と平素のご支援に謝意を表し、次のように挨拶をしました。

(要旨)

平成 27 年度の会員数の状況は、65 歳までの雇用延長等の影響もあり、例年 200 人ほどある入会者が 158 人とどまり、その結果、年度末会員数は前年度対比 60 人減の 1,447 人となった。過去最大の減少であり、会員の減少は仕事の減少、仕事の減少は会員の減少という悪循環に陥らないか懸念している。新年度は会員拡大を最重要課題とし、それぞれの地区でも会員獲得をしていただくようお願いしている。皆様も、知人等に声をかけていただきたい。

次に、事業実績は、7 億 1 千 3 百万円余で前年度比較で微減であった。発注者に感謝申し上げます。一方、仕事の完成度、仕事に対する態度や接遇等への要求は年々厳しくなっており、当センターの信頼向上により一層皆様のご協力をお願いしたい。

会員の親睦交流、ボランティア活動は、地域組織や会員互助会が例年にも増して取組んでいただいた。本年度もこの活動を通じ、シルバー事業の普及啓発、会員の連帯感の醸成をより一層図りたい。

次に、公益社団法人ということとシルバー事業の意義について話をしたい。我がセンターは、平成 23 年に公益社団法人に認定された。この認定は、公益を目的とする事業を行う民間の団体を認定する制度で、まちづくりを行政のみならず、市民と民間団体の力を活用して行うものである。センターの事業目的は、1 つ目に高齢者福祉の増進、2 つ目は勤労意欲がある人への就業支援、3 つ目は地域社会の健全な発展であり、これらを総合的に行うことである。皆様の活動は活力ある高齢化社会という四日市市のまちづくりの一翼を担うということであり、社会的に意義がある。本日の総会を機会に、もう一度、公益社団法人であることと、シルバー事業の社会的意義を再確認し、会員拡大を図り、本市の高齢者の活躍の場として発展させていきたい。なお一層のご理解とご協力をお願いします。

最後に、熊本大分の震災の義援金募金に協力をお願いします。また、4 月のエキサイトバザールの売上金 13 万 2 千円は、熊本県共同募金会に寄付したので報告します。